



QCAST@S740を展示したブースの様子

財務省・IMF世銀総会にQCAST®の展示協力をしました。

10月9日～14日、第67回IMF・世界銀行総会が東京国際フォーラムにて開催され、明星電気は緊急地震速報利用者協議会を通じて、財務省のご依頼により株式会社ANET様とともに緊急地震速報の日本国政府展示に協力しました。IMF・世銀総会は、世界188カ国の加盟国の財務大臣や国際機関の幹部やメディアなど、合計約1万人が参加する世界最大規模の国際会議です。財務省はこの機会を捉えて日本の文化・科学技術を積極的にセールスすることを考えており、ユニークな発想を元に生活を困む高い技術製品、社会を支える先進的インフラ技術の一つとして気象庁緊急地震観測システムのパネル紹介と受信端末QCAST@S740を展示しました。明星電気は、今後も先進防災技術で社会に貢献して参ります。

(当社営業担当: 新市場開拓グループ 練木道夫)



グループディスカッション プレゼンの様子
(右端: 当社従業員)

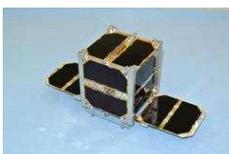
第7回宇宙産業界若手意見交換会 参加

JAXA産業連携センター様主催による第7回宇宙産業界若手意見交換会が(株)IHI 横浜事業所にて開催されました。この会は、宇宙産業界に携わる各企業やJAXA様の若手を対象に、視野の拡大、モチベーションの向上、将来につながる人的ネットワークの形成を図ることを目的として、施設見学や講義、グループディスカッションなどが行われました。参加した当社従業員は、「グループディスカッションでは、活発な議論が繰り広げられ、今後の視野の拡大につながるのと同時に、近い世代の方々から多くの刺激を受ける大変貴重な機会になりました。」と話していました。組織の垣根を越えた意見交換会は、今後の宇宙産業発展に向けて、中核的な原動力となることが期待されています。

(当社営業担当: 官公ソリューション営業部 小林 忍)



「きぼう」からの小型衛星放出イメージ
(JAXA様提供)



放出された超小型衛星「WE WISH」

超小型衛星「WE WISH」放出成功！！

明星電気が開発・製造した超小型衛星「WE WISH」(10cm角, 重量約1.2kg)は、2012年10月4日(木)23時37分(日本時間)に、国際宇宙ステーション(ISS)日本実験棟「きぼう」から、星出宇宙飛行士のロボットアームの操作により放出されました。「WE WISH」の軌道投入成功後、翌日の5日(金)0時24分には、衛星からの電波受信に成功しました。翌日からは衛星信号を受信したアマチュア無線家の方々からの受信報告が届き始め、国内・海外から多くの報告をいただいております。この後には地元の中や高校の生徒さんと共同受信も予定されております。今後も受信信号の詳細な解析を行い開発製造の成果を確認すると共に、ミッションの完遂を目指していきます。

(当社広報担当: 経営企画室)

FROM UNDERWATER TO OUTERSPACE

明星電気は先端技術を活かし、～人と社会の豊かな環境づくりに貢献する～を
テーマに水中から宇宙までをカバーする世界のトータルソリューションプロバイダーを目指します。